

BEP療法

対象疾患	胚細胞腫瘍
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	4	5	6	9	16	...	21				
RP.1		ソルデム3A	500mL	点滴静注	メイン	120分	○	○	○	○	○									
RP.2		グラニセトロン	3mg	点滴静注	メイン	30分	○	○	○	○	○									
		デキサート	6.6mg																	
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分		○												
	○	ブレオ	30mg/Body																	
RP.4		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	120分	○	○	○	○	○									
	○	エトポシド	100mg/m ²	PVCフリーの輸液セットを使用																
RP.5		ソルデム3A	500mL	点滴静注	メイン	120分	○	○	○	○	○									
RP.6		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	120分	○	○	○	○	○									
	○	シスプラチン	20mg/m ²																	
RP.7		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	120分	○	○	○	○	○									
RP.8		ソルデム3A	500mL	点滴静注	メイン	150分													○	
RP.9		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	150分													○	
RP.10		ソルデム3A	500mL	点滴静注	メイン	150分													○	
RP.11		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	150分													○	

【裏面にも記載あり】

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

BEP療法

対象疾患	胚細胞腫瘍
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	4	5	6	9	16	...	21				
RP.12		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分										○	○			
		デキサート	6.6mg																	
RP.13		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分										○	○			
	○	プレオ	30mg/Body																	
RP.14		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	150分										○	○			

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

TIP療法(2次化学療法)

対象疾患	胚細胞腫瘍
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日															
							1	2	3	4	5	6	7	8	...	21						
RP.1		ソルデム3A	1000mL	点滴静注	メイン	指定なし	○															
						40mL/h																
RP.2		ソルアセトF	1000mL	点滴静注	メイン	指定なし		○														
						40mL/h																
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	30分		○														
		ボラミン	5mg	インラインフィルター使用																		
		ファモチジン	20mg																			
		デキサート	16.5mg																			
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分		○														
		グラニセトン	0.3mg																			
RP.5		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	24時間		○														
	○	パクリタキセル	175mg/m ²	輸液ポンプ使用禁																		
RP.6		グラニセトン	3mg	点滴静注	メイン	30分				○	○	○	○	○								
		デキサート	6.6mg																			
RP.7		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分				○	○	○	○	○								
		ウロミテキサン	400mg/Body																			
RP.8		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン	180分				○	○	○	○	○								
	○	イホマイド	1200mg/m ²																			
RP.9		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	180分				○	○	○	○	○								
	○	シスプラチン	20mg/m ²																			
RP.10		ソルアセトF	1000mL	点滴静注	メイン	6時間30分				○	○	○	○	○								
RP.11		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分				○	○	○	○	○								
		ウロミテキサン	400mg/Body	イホマイド終了より4時間後																		

【裏面にも記載あり】

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトン塩酸塩 注射等)					
デキサメタゾン (デカロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

TIP療法(2次化学療法)

対象疾患	胚細胞腫瘍
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	4	5	6	7	8	...	21				
RP.12		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分			○	○	○	○	○							
		ウロミテキサン	400mg/Body				イホマイド終了より8時間後													
RP.13		ソルデム3A	1000mL	点滴静注	メイン	12時間30分			○	○	○	○	○							
RP.14		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	120分											○			
RP.15		ソルデム3A	500mL	点滴静注	メイン	120分											○			
RP.16		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	300分											○			

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。